

開会挨拶

吉田 宏 福岡市長 (靄川 宏 副市長代読)

平成 21 年度「高齢社会フォーラム in 福岡」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から本市のまちづくりに深いご理解ご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。

1999 年の「国際高齢者年」を契機に、毎年東京で開催されてきた「高齢社会研究セミナー」が、本年度より装いを新たに「高齢社会フォーラム」としてスタートするにあたり、最初の地方開催都市としてこの福岡市が選定されたことは誠に名誉であり、主催者である内閣府及び高齢社会 N G O 連携協議会に感謝申し上げます。

また、これもひとえに、本日ご出席の皆様方の、常日頃からのまちづくりへの取り組みの成果であると考え、そのご尽力に改めて敬意を表する次第であります。

さて、近年の少子高齢化の進展、核家族化の進行、単身高齢者の増加、住民相互のつながりの希薄化など、地域をとりまく状況は大きく変化しております。

また、昨年来の百年に一度の経済危機は、ここ福岡市におきましても、経済や暮らしに大きな影響を与えています。

このような中、地域の役割の重要性や、地域ネットワークの充実の必要性がよりいっそう高まってあります。とりわけ、今後都市部において急増が予想される高齢者の方々の地域への参加が、これまで以上に重要になってまいりと考えてあります。

本年は福岡市制 120 周年の節目の年であります。本市では「福岡市 2011 グラン ドデザイン」において、「環境」や「アジア」といったまちづくりの目標を掲げ、市民の皆様と協働しながら、住み慣れた地域で、ともに助け合い、支え合いながら、健やかに安心して生活することができるまちづくりを推進しているところであります。





皆様方におかれましても、今後とも引き続き、本市政へのご理解ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

この後、長年にわたりさまざまな分野で活躍されてきたエイジレス・ライフ実践者や社会参加活動事例の表彰があります。受賞者のご功績に対し深く敬意を表しますとともに、海外からのお見えの参加者の方々への歓迎の意と。本フォーラムが福岡市の福祉のまちづくりのさらなる推進のためのよき契機となりますよう期待をいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

最後となりましたが、ご出席の皆様のご健勝ご活躍を心から祈念いたします。